

令和5年度 第1回 田辺市地域公共交通会議（本宮地域） 会議録

日 時	令和5年8月23日（水）午後2時から午後2時40分まで
場 所	中辺路コミュニティセンター 1階 大会議室 （ウェブ併用）
出席者	15名
欠席者	2名
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員紹介 3. 本宮地域における住民バスの現状について 4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 本宮地域における今後3年間の住民バスの運行について 5. その他 6. 閉会
1. 開会	
司 会	<p>令和5年度 第1回 田辺市地域公共交通会議（以下「会議」という）の出席状況は、全委員数17名中、出席15名、欠席2名である。よって、田辺市地域公共交通会議条例（以下「条例」という）、第5条第2項により、委員の半数以上の出席があるので、本会議が成立していることを報告する。</p> <p>本会議の開催趣旨としては、本市の本宮地域で運行している自家用有償旅客運送事業（田辺市住民バス）の登録期限が令和5年9月末をもって満了を迎えることから、その更新等に係る内容について協議をいただくものとなっている。</p>
2. 委員紹介	
司 会	時間の都合上、資料記載の委員名簿により、紹介と代えさせていただく。
3. 本宮地域における住民バスの現状について	
事務局	<p>《本宮地域における住民バスの現状について事務局から説明》</p> <p>※ これまでの経過、今後の予定、利用状況などを説明</p>
4. 議事	
(1) 本宮地域における今後3年間の住民バスの運行について	
司 会	田辺市地域公共交通会議条例第4条第1項に基づき、田辺市企画部長が会長となっている。また、同条例第5条第1項の規定に基づき、会長が議長となる。
議 長	本日の議事については、先ほど事務局からの会議趣旨の説明の中にもあったとおり、現在田辺

	市が運営している本宮地域における住民バスの今後3年間の運行についてとなる。事務局から資料の説明を行う。
事務局	《本宮地域における今後3年間の住民バスの運行について事務局から説明》 ※ 事務所の名称や位置、配置車両数、路線、運行内容、利用料金、経路図、時刻表などを説明
議長	ただ今の説明について、委員の皆様からご意見・ご質問等何かありますか。
A委員	利用状況について。路線ごとの利用状況も把握しているか。
事務局	把握している。令和4年度の路線ごとの利用者数を報告。
A委員	住民バスへのインバウンド等の観光客の利用について。観光客の利用状況はどうか。
事務局	観光客の利用はほとんどないと聞いている。
A委員	意見として、利用状況等を勘案しながら路線の見直し等を行っていただきたい。
議長	インバウンド等観光客に関連した質問をいただいたので、本市観光振興課で実施している事業について事務局より説明する。
事務局	本宮地域の住民バスの利用ニーズとしては、通院や買い物が主である。一方、コロナ禍からの回復により増加したインバウンドを含めた観光客への対応（大社や各温泉街、旅館との連絡）については、住民バスで困難であるので、観光施策として、大社と各温泉街をつなぐ交通手段（三湯めぐり）の確保を検討している。
B委員	タクシーの利用について。熊野第一交通は、本宮地域内で唯一、タクシーを待機させているが、厳しくなっている。自家用車で本宮大社へ来て、そこからタクシーを利用して発心門へ行く需要もあると思うが、利用者の多くは早朝が多く、実質は対応できていない（本宮大社に6時半といった早朝の依頼であり、新宮事務所からだと間に合わない状況である）。路線バス、住民バス、NPO法人が運営する福祉有償運送がある中、タクシーの必要性がなくなっている。以前、請川に営業所があった時は車両を5台配置しており、本宮大社（鳥居前に待機させてもらった）や観光協会、旅館等と協力しながら何十年も営業してきたが、非常に残念である。10年前から同様のこと（タクシーの利用が少ない）を言っている。
議長	大変厳しい状況であることをお聞きした。この場でできる答弁は限られるが、何かありますか。
B委員	住民バスへの観光客利用はほぼないとのことだが、住民バスの発心門線における時間別の乗車人数のデータはあるか。路線別・時間別の利用者情報のデータを共有してもらい、需要の高い時間帯や早朝や夜間など他の公共交通機関がない時間帯などにしぼり、運行をすることも考え

	られる。
事務局	委員の質問である本宮大社から発心門までの利用者は、令和4年度で2名のみである。便ごとの利用者数については、資料を持ち合わせていないので具体的な人数はわからないが、10時33分大社発か12時23分大社発のいずれかに乗られている。
議長	時刻表をご覧になってわかるように、住民バスの運行時間というものは、観光客の需要が高い早朝や夜間の時間帯には対応できていないというのが現状である。現在のタクシー業界を取り巻く環境（利用者が増えない、人件費、燃料費、その他諸経費が高騰する）の中で、大変苦しい状況をご説明いただいた。そのような中で、本宮地域内での観光客への対応（早朝や夜間のニーズに対応したダイヤの設定等）など、観光部門としても、どうすれば観光客の方に喜んでもらえるかをコロナ明けから検討をしている状況である。
C委員	交通弱者がどのようにしてバスに結束していくか、生活交通と観光の住み分けをどうしていくか、また、B委員が言うように、他の交通機関が動いていない早朝や夜間の時間帯をどうしていくかなど、今まではできていたではなく、今後はどのように共存していくかを考えなければいけない。もし、観光を増やしていくのであれば、タクシー事業者にも協力を仰ぎ、住民バスは生活交通を守るものとして、それぞれ住み分けするべきではないかと考えている。
議長	田辺市における幹線については、国県から補助金をもらいながら、また、市単独で補助しながら確保・維持しており、その支線については住民バスで補う考え方である。特に本宮地域の住民バスについては、通院や買い物を目的とした生活交通を中心に考えた運行時間となっている。森下委員が言うように、住民が動きたい時間帯と観光客が動きたい時間帯が違うという状況の中で、どのように住み分けをしていくかという課題については、別の協議体である田辺市地域公共交通活性化協議会において令和6年度に策定する地域公共交通計画をまとめていく中で、地域等の意見を聞き、市としてどこまでできるのかを考えていく必要がある。 B委員、C委員が言うように、バスやタクシーの事業者と行政がいかに連携又は役割分担していくかについては、大きな課題であると認識させていただいた。
議長	本日の議事である「本宮地域における今後3年間の住民バスの運行」について、委員の皆様方のご承認をいただけるということでよろしいか。 《異議なし：参加者全員の挙手を確認》 本会議での協議が調ったということで受け止めます。ありがとうございました。
5. その他	
議長	つづいて、その他の項目について委員の皆様方及び事務局から何かありますか。 《意見なし》

	事務局からは何かありませんか。 《特になし》
6. 閉会	
議 長	<p>それでは、本日、予定していた議事については、すべて終了したのでこれをもって本宮地域における田辺市地域公共交通会議を終了する。</p> <p style="text-align: right;">【午後2時40分終了】</p>